

川口陸上プログラムは今日から長短グループ合同で駅伝練習に入りました。来年二月に開かれる(であろう)第4回SONS駅伝に備えての練習です。

配布プリントは上辺に過去三回の駅伝で使われた県民健康福祉村のジョギングコースの案内図を貼り付け、その下に3箇所の中継所(ふれあい橋、ふじだな、レンタサイクル)の画像を貼り、第一レースと第二レースの区間設定を明示しています。同様のプリントは今年一月のプログラムの時にも配布されていますが、これはその改訂版と云うことです。

第四回SONS駅伝について具体的なことは未だ聞いていませんが、第四回が有るとすれば、それは此処(福祉村)で、前回と同じ区間設定で行われるはずです。そうでなければ過去の記録との比較ができない、つまり大会新記録や区間新記録が存在できないからです。故にそのための練習もこのコース&この区間設定を前提にしたものになるはずです。

其処で今日の立ち上がりのウオーキングでは、このプリントを持って、各中継所を見ながら歩いてもらい、私は自転車をフル活用して各中継所に先着し、そこで集団を待つことにしました。

最初はスタート・ゴール地点です。此処はウオーキングのスタート地点から二百メートル弱の所です。愚図愚図してはいられません。準備運動が始まるのを待って先行スタートしました。

待つこと五分。元気館の前に集団が見えてきました。未だスタートして百メートル足らず。文字通りの団子状態です。先頭をコーチの一人がリードしていました。

その団子をふれあい橋の袂に導いて、目の前の『100』と書いてある白線がスタートライン兼ゴールライン兼中継線であること。此処が何区から何区への中継所かは配布プリントに書いてあること等々を手早く説明して再スタートを指示しました。

一方私は噴水池の畔を自転車で藤棚に急ぎました。そして藤棚の近くの櫟(いちい)の木の前で集団を待ちました。

駅伝練習の初日に一位とは縁起が良いと云うことも有りますが、この木は今、小さな赤い実を付けています。針のような青い葉を背景にした小さな真っ赤な実。その印象的な実を見てもらおうというのです。

最初に見えたのはNYちゃんでした。彼女は危うく通り過ぎる所でしたが、私の静止に気が付いてくれました。数歩後れて集団の到着です。

此処では『櫟』は『一位』とも書く事。赤い実の果肉は甘くて美味しいと云う話ですが、果肉以外の所は全て毒を含んでいると云った説明に五分弱を使い、その後、集団を藤棚の前に導いて、ふれあい橋中継所と略同様の説明をして再スタートしてもらいました。

そして私は再び自転車を飛ばして四百メートル先のレンタサイクル中継所の予定地に向かいました。其処では2分も待ったでしょうか。集団がやって来ました。今度も先頭はNYちゃんですが、今度は私の制止を無視して通過しました。

が、此処でお父さんがストップをかける声。それは優しい静かな声でしたが、お父さんの権威とでも言うのでしょうか、NYちゃんは振り向いて戻って来ました。

程なく集団も到着。私は集団をコースの端に寄せて、ふれあい橋中継所 & 藤棚中継所と同様の説明をし、最後にこの中継所の名前について

「見て分るように、この中継所の直ぐ前に在るのはレンタサイクルの受付ではなく、公衆便所です。でもそれを名前にするのはどうもね」

とやったら、集団の中から『便所中継所』と云う声と共に『クスッ』と来ました。この笑いを切欠に再スタートしてふれあい橋中継所に戻ってもらいました。

ウォーキングの後はふれあい橋をスタートして、アスリートの走力に合わせて、ジョギングコースを半周か二周か三周走り、ログハウス裏で上がりの体操をして”Let’s Go SONS”を叫び、十一時五分に今日のプログラムを終わりました。

中 村 泰 雄